

# ダイヤモンド就活ナビ2019 就職モニターレポート12月調査

## 【調査概要】

- ◆調査対象 2019年3月卒業予定の大学院生・大学生
- ◆有効回答 914名
- ◆調査期間 2017年12月15日（金）～2017年12月21日（木）
- ◆調査方法 WEB入力フォームより回答

## 【回答学生の内訳】

| 文系              | 理系              |
|-----------------|-----------------|
| 620名<br>(67.8%) | 294名<br>(32.2%) |

## 【回答の多かった学生】

明治大学、中央大学、早稲田大学、  
専修大学、日本大学、関西学院大学、  
慶應義塾大学、南山大学、近畿大学、  
立教大学、青山学院大学、法政大学、  
同志社大学、國學院大學、東京大学、  
上智大学、東京外国語大学

## 【大学エリア別回答学生数】

|          |     |        |
|----------|-----|--------|
| 北海道      | 46  | 5.0%   |
| 東北エリア    | 8   | 0.9%   |
| 関東エリア    | 487 | 53.3%  |
| 甲信越エリア   | 19  | 2.1%   |
| 東海・北陸エリア | 67  | 7.3%   |
| 関西エリア    | 195 | 21.3%  |
| 中・四国圏エリア | 63  | 6.9%   |
| 九州・沖縄エリア | 29  | 3.2%   |
| 総計       | 914 | 100.0% |

## ◆TOPICS◆

### <インターンシップ参加状況>

インターンシップ参加率は69.8%と7割に迫る。  
参加理由は「就活に有利だと思ったから」（58.8%）がトップ。

### <インターンシップ選考状況>

インターンシップ参加の選考経験者は65.1%  
選考の内容は「書類選考」が9割を占める。

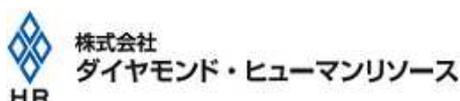
### <インターンシップ参加社数、参加日数>

平均参加社数は2.72社（昨年比+0.57社）。  
複数回参加者は66.6%（昨年比+13.0ポイント）と半数を超える。

### <就職活動観>

「できるだけ大手」が37.9%と「やりがい、適性が合えば企業規模は問わない」  
(36.0%)と逆転。「大手」と合わせると44.9%に。  
企業を選ぶ基準は「仕事に魅力を感じる」55.1%、「社風がよい」53.9%。

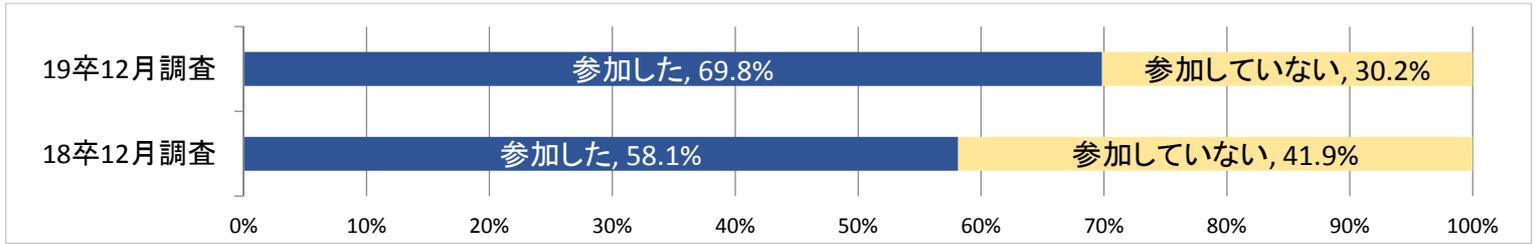
【本調査に関するお問い合わせ】



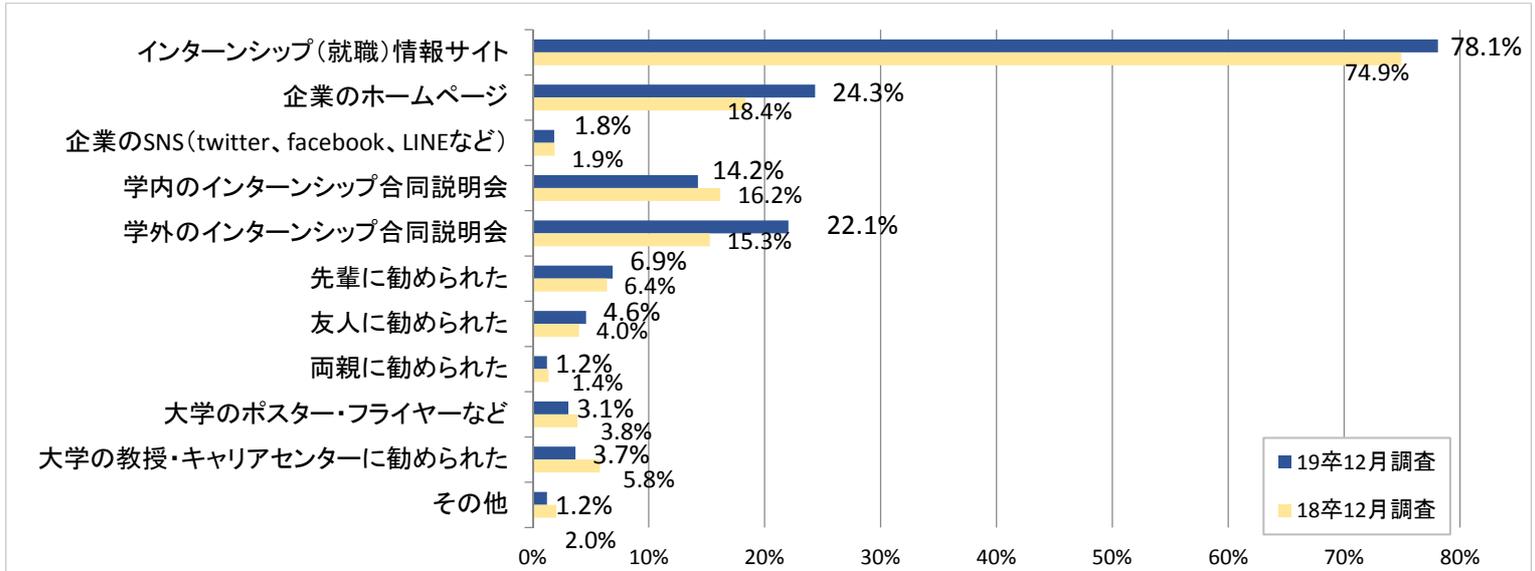
新卒メディア事業局 首都圏営業部  
TEL : 03-5319-2452  
E-mail : [marketing@diamondhr.co.jp](mailto:marketing@diamondhr.co.jp)

# インターンシップ参加状況

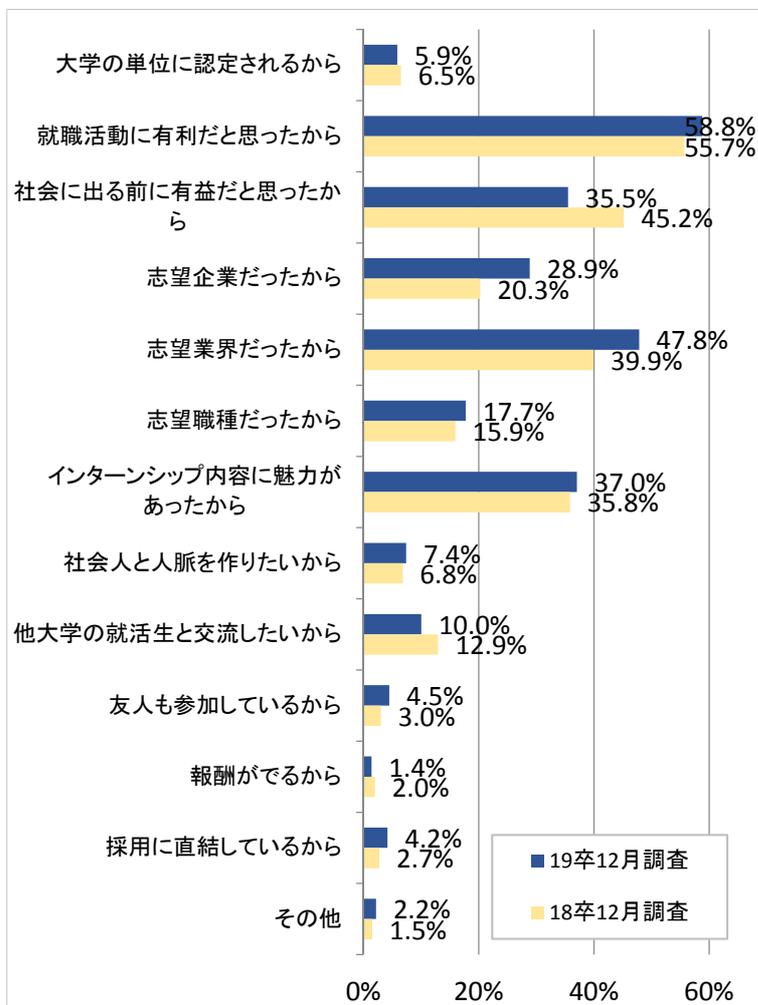
## ◆今年度の企業主催のインターンシップに参加しましたか？



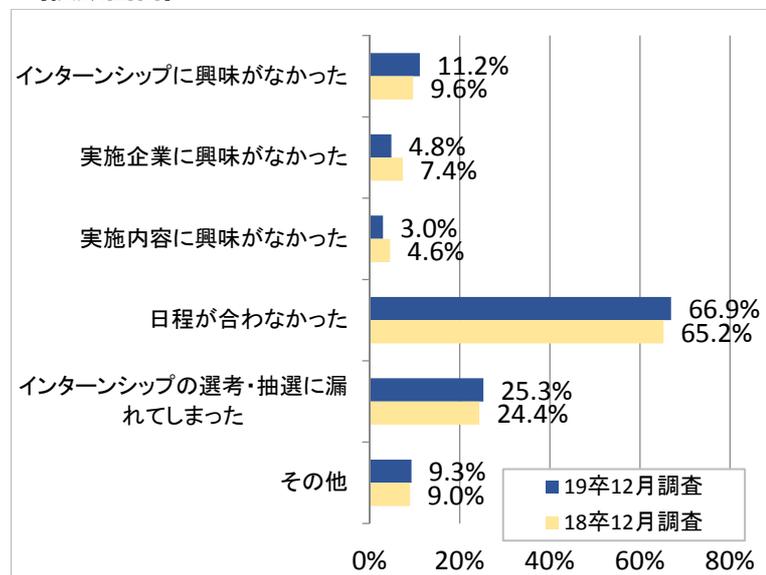
## ◆応募のきっかけとなったものをお答えください。(複数回答)



## ◆インターンシップに参加した理由は何ですか？(複数回答)



## ◆インターンシップに参加していない理由は何ですか？(複数回答)



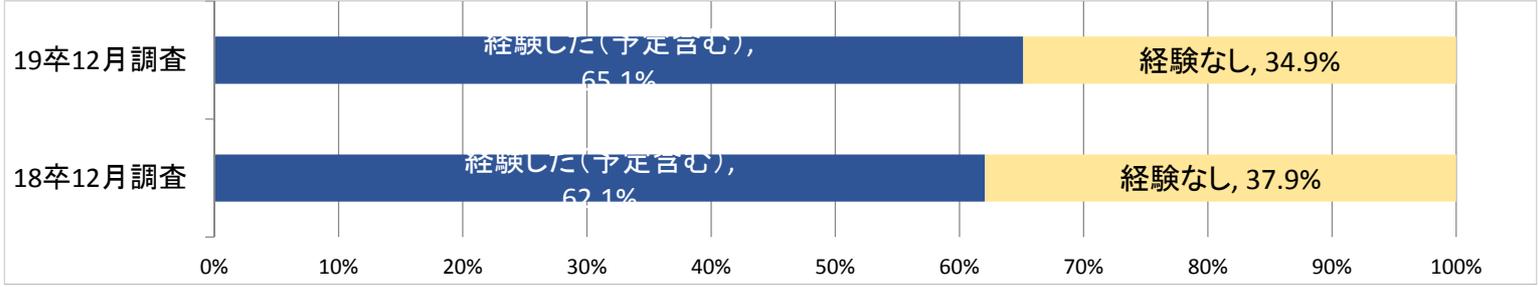
### インターンシップ参加率は69.8% 不参加の理由は「日程が合わなかった」がトップ。

インターンシップへの参加状況は、「参加した」が69.8%、「参加していない」が30.2%と、参加した学生が7割に迫った。応募のきっかけはインターンシップ(就職)情報サイト経由の78.1%が圧倒的。

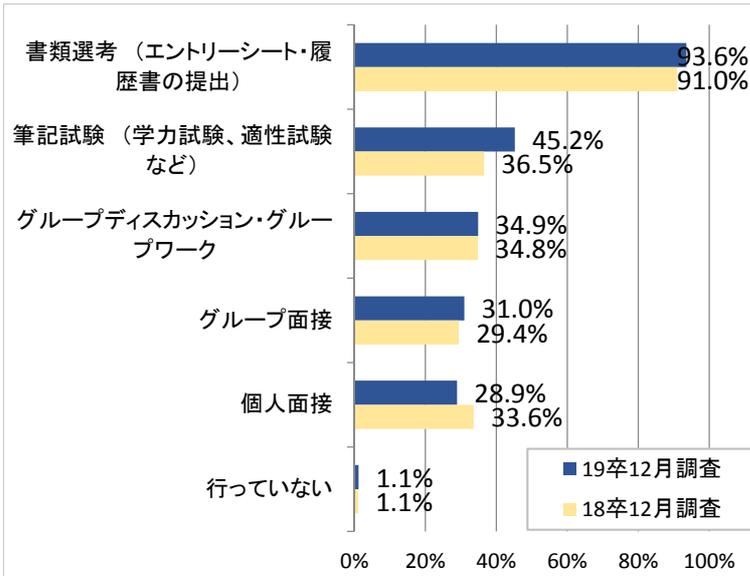
参加の理由は「就職活動に有利だと思ったから」が58.8%、「志望業界だったから」が47.8%となった。不参加の理由は「日程が合わなかった」が66.9%でトップとなり、日程が合えば参加したい意向も垣間見える。

## インターンシップ選考

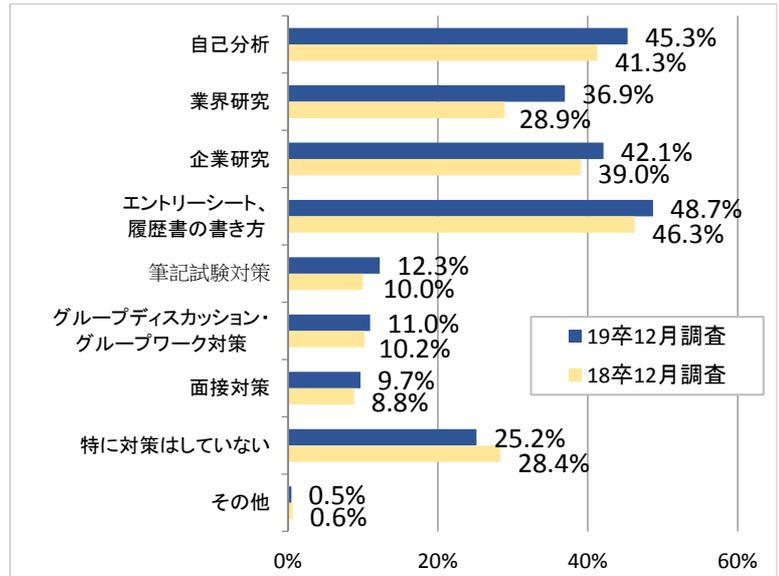
### ◆インターンシップ参加のための選考は経験しましたか？



### ◆それはどのような選考でしたか？（複数回答）



### ◆選考のためにどのような対策を行いましたか？（複数回答）

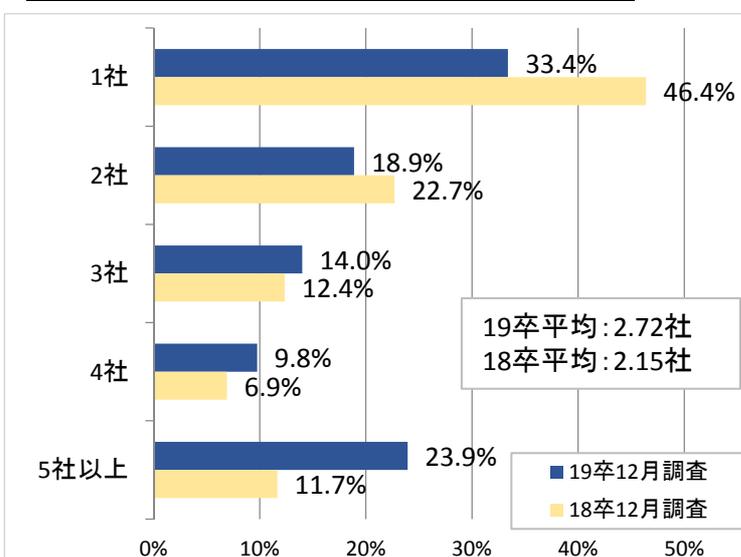


### インターンシップ参加の選考経験者は65.1%。選考内容は「書類選考」が9割を占める。

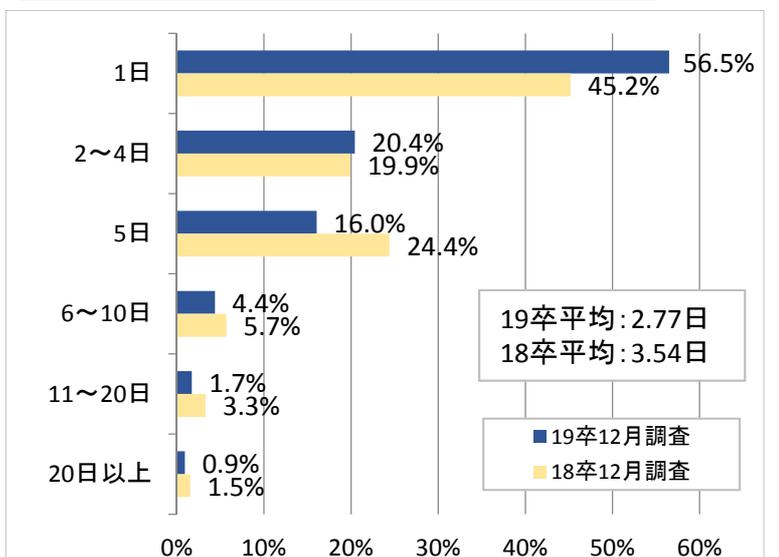
インターンシップ参加のための選考は65.1%が「経験した（予定含む）」と回答。選考の内容は「書類選考（エントリーシート・履歴書の提出）」が93.6%を占め、選考のための対策も「エントリーシート、履歴書の書き方」が48.7%でトップとなった。次点以降は「自己分析」45.3%、「企業研究」42.1%、「業界研究」36.9%が続く。

## インターンシップ参加社数、参加日数

### ◆インターンシップには何社参加しましたか？



### ◆インターンシップの参加日数を教えてください

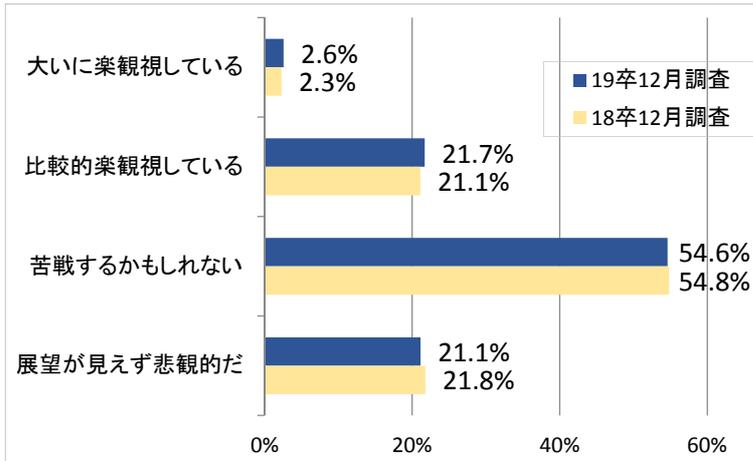


### 平均参加社数は2.72社、複数回参加者が66.6%で半数を超える。

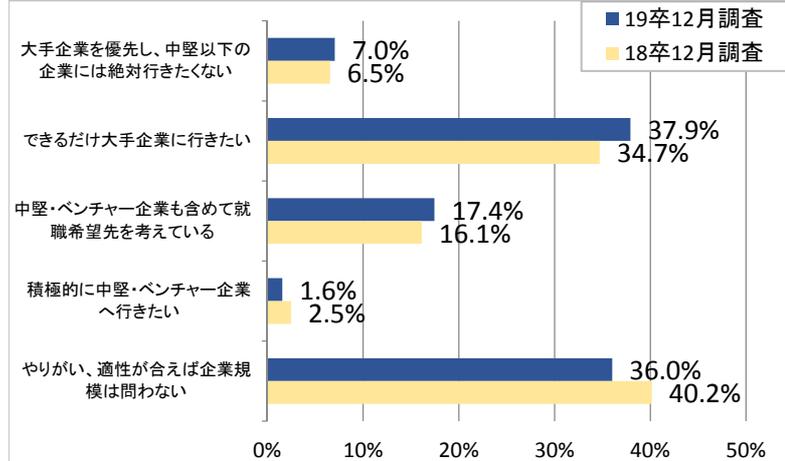
インターンシップへの参加社数は「1社」が33.4%と最も多いが、最低日数要件削除の影響か「5社以上」が倍増し2番目に多くなった。参加日数は「1日」が56.5%でトップとなった。平均参加社数は増加し平均参加日数は減少した。

就職活動観

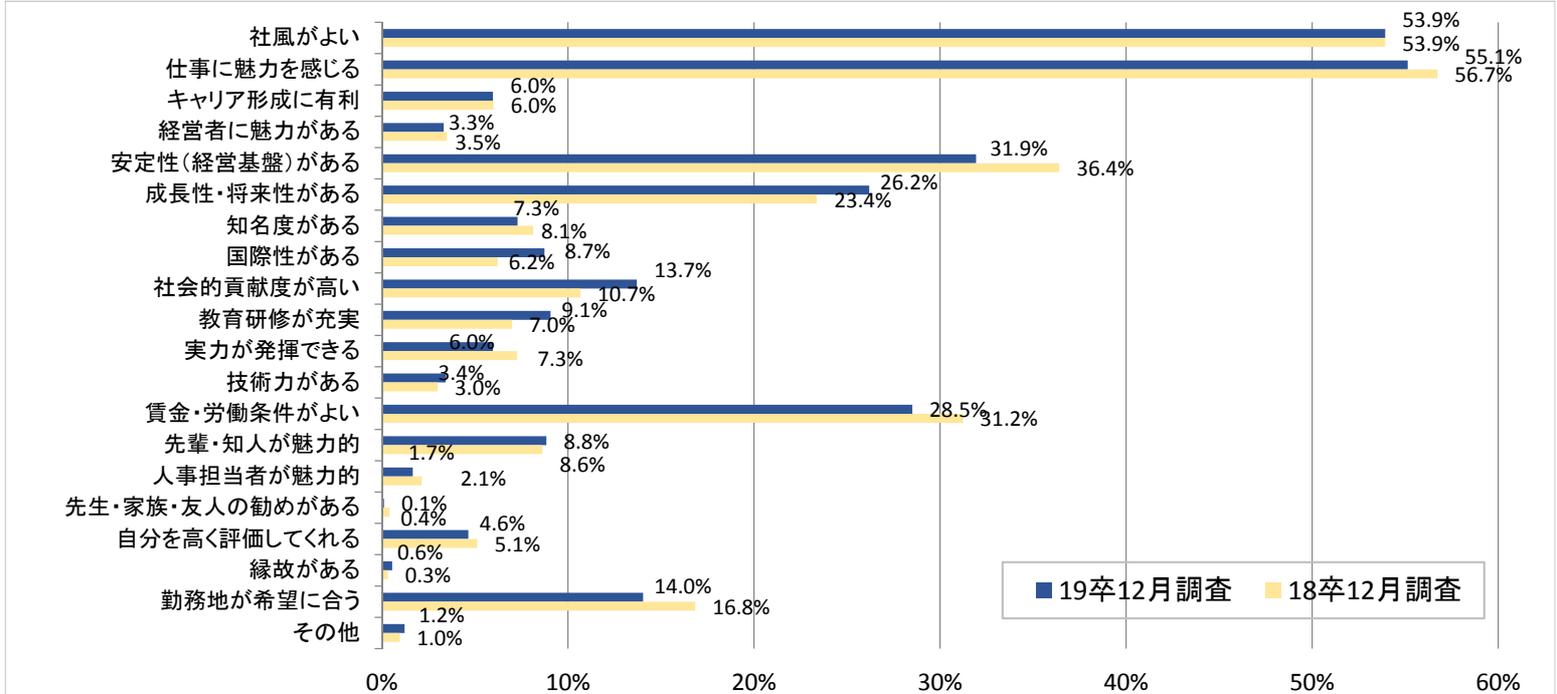
◆就職活動に向けて、現在の考えに近いものをお答えください。



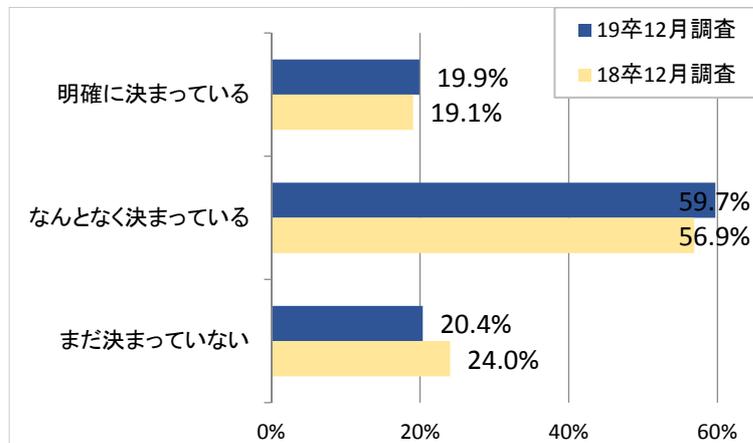
◆どんな企業に入社したいと思いますか？現在の考えに近いものをお答えください。



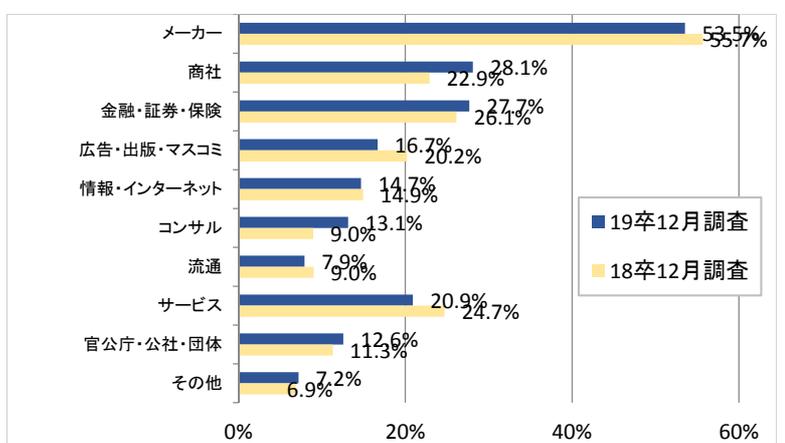
◆企業を選ぶ基準は何ですか？現在の考えに近いものをお答えください（複数回答3つまで）。



◆志望業界は決定していますか？



◆現時点での志望業界を教えてください。（複数回答、3つまで）



「やりがい、適性が合えば企業規模は問わない」が36.0%の一方、「大手」&「できるだけ大手」が44.9%。企業を選ぶ基準は「仕事に魅力を感じる」55.1%、「社風がよい」53.9%が過半数を占める。

就職活動が「苦戦するかもしれない」と考える学生が54.6%の一方で、企業規模は「できるだけ大手」が37.9%と「やりがい、適性が合えば企業規模は問わない」の36.0%を上回り、大手志向の学生が増加したといえる。企業を選ぶ基準は「仕事に魅力を感じる」が55.1%で最も多く、次に「社風がよい」が53.9%で続く。